

市政 PICK-UP

キズナつなぐ施設へ

7月19日、中国四国防衛局が整備を進めている愛宕山地区の運動施設エリアにおいて、野球場「キズナスタジアム」などの内覧会が行われました。福田良彦市長は「これからさまざまなイベントを開催し、日米の絆がより深まる施設になってほしい。また岩国は高校野球が盛ん。地元の球児がここで熱戦を繰り広げることを期待する」とあいさつし、米軍岩国基地のリチャード・ファースト司令官は「楽しみながらお互いを

愛宕山運動施設エリア内覧会

尊重する関係を築いていきたい」と施設の役割に期待を示しました。今後施設は米軍に提供され、市が共同で使用するための手続きなどを行った後に市民の利用開始となります。同エリアには他に、多様な機能を備えた日米交流に利用できるコミュニティセンターや、人工芝のサッカーコートを用意した第4種公認陸上競技場などが今年度中に完成予定です。

岡拠点整備推進課 ☎ 5164



質の高い音楽に触れる機会を

8月1日、シンフォニア岩国で「豊かな心をはぐくむ音楽鑑賞教室」が行われました。

この音楽鑑賞教室は、プロのオーケストラの演奏を聴いてほしいと市内の小学6年生を対象に行われたもので、訪れた約千人の児童は広島交響楽団の美しい音色に魅了され、真剣な表情で聞き入っていました。また指揮者である下野竜也氏のユーモアを交えた分かりやすい解説や、オーケストラの伴奏で市歌を歌



▲開演前に演奏を心待ちにしている児童たち

豊かな心をはぐくむ 音楽鑑賞教室

うなど、児童たちは楽しくげいたくなひとときを過ごしました。

この催しは、岩国市文化芸術振興プランの「未来へはばたく子夢プロジェクト」の一環として行われ、ふるさと納税の寄附金を積み立てた「ふるさと応援基金」を財源として、次代を担う子供たちが優れた文化芸術に触れ、感受性豊かな人間として成長していくことを目的に今年度から始まったものです。

図文化振興課 ☎ 5211



▲ホルストの組曲「惑星」より「木星」などがホール内に響き渡る



▲現地の子供たちに、かぶとやカエルなどの折り方を教える

異文化に触れ、互いに成長

7月22日から8月6日まで、青少年海外派遣事業として市内の高校生13人が、姉妹都市であるアメリカ合衆国エベレット市に派遣されました。

この事業は、青少年の国際理解を深め、次代を担う人材の育成を図ることを目的に毎年行われています。

生徒たちはホームステイをしながらエベレットコミュニティカレッジで英語研修を受講し、市役所や警察署、博物館を訪問するなどして見聞を広げました。

青少年海外派遣事業

現地の大学生や子供たちとの折り紙などを通じた交流では、回数を重ねるごとに英語力と自信を身に付け、積極的にコミュニケーションを取れるようになりました。最終日にはさよならパーティーが行われ、ホストファミリーの前でスピーチを行い、思わず涙を浮かべる生徒もいました。

生徒たちは異文化に対し理解を深め、切磋琢磨しながら充実した16日間を過ごしました。

図文化振興課 ☎ 5211



▲プログラム立ち上げから20年以上に渡り尽力された真由美スミス氏(右)。今年で最後の活動となる